



県PTA活動研究委嘱公開 いちき串木野市PTA連絡協議会

11月30日(土)、いちき串木野市

の市民文化セン
ターで開催され、
約600人の参
加がありました。

親子で取り組む 生活習慣づくり



開会式の様子

旭小学校、荒
川小学校、串木
野中学校のPTA
が、三校で共通実践事項を設定
し、親子で取り組んだ事例を発表
しました。共通実践「生活リズムチ
ェックカードの活用」を通して、小
中連携が図られ、各学校更なる具
体的な実践につなげることができ
たという報告がありました。

ネット依存の低年齢化！

講演は増田クリニクの増田彰則
先生が「睡眠不足とメディアから
子どもの脳を守る」と題して、ネッ
ト・ゲーム・スマホの長時間使用
が子供に与える影響や2歳児問題
について講演されました。

保護者としての在り方を学び合
う有意義な研修会になりました。

～正しい判断は正しい情報から～ 講師は辛坊治郎氏 日置地区生涯学習推進大会・いちき串木野市生涯学習大会



地区受賞者の皆様



装道礼法基本動作

2月2日(日)、いちき串木
野市民文化センターで開催
され、700人を超える入場
者がありました。
大会は、
本市で活
動してい
るセーラ
ー☆スタ
ーズ(小
1・高2)の華やかな演技で
幕が開きました。開会行事で
は、地区社会教育等に尽力さ
れた個人・団体が表彰されま
した。学習成果の発表では、
日置市の「妙円寺地区公民館
講座」(ハッピーダンシング)
の皆さん、いちき串木野市の
「和装礼法教室」の皆さん、



セーラー☆スターズ

第44号
(発行)
日置地区
社会教育振興会
(事務局)
鹿兒島教育
事務局

「レクリエーションダンス協会」の
皆さんに発表していただき、会場か
ら大きな拍手が送られました
報道の現場から情報の正しい判断！



テレビ等で御
活躍の辛坊治郎
氏が、標記のテ
ーマで講演をさ
れました。新型肺
炎、中国経済、人
間の寿命、運転免
許証返上など昨
今の時事問題や、

自身のヨット遭難事故をユーモアを
交えながら、分かりやすい話で会場
を沸かししました。ニュース等の見方
を学び、充実した生涯学習推進大会
となりました。

【全国・県表彰】※敬称略

- 地域学校協働活動文部科学大臣表彰
生冠中学校学校運営協議会
- 優良公民館文部科学大臣表彰
土橋地区公民館(日置市)
- 地域文化功労者文部科学大臣表彰
所崎 平(いちき串木野市)
- 子どもの読書活動推進優良図書館等
県教委表彰 ふきあげ図書館(日置市)

【地区社会教育優良個人・団体】

- 日置市関係 野崎恭弘、竹下文夫、
中野美智子、正木厳範、吹上地域
食生活改善推進員連絡協議会
- いちき串木野市関係 吉留秀俊、
山下二直男、てるてるくらぶ、生
福地区子ども会育成連絡協議会

日和下駄

まちづくりはひとづくり

いちき串木野市教育委員会
社会教育課長補佐 五反田晴夫

観音ヶ池市民の森の千本桜は、い
ちき串木野市に春を告げてくれる。
青空に映える桜も素晴らしいが、坂
道を上り何層にも重なり合う桜を見
渡す景色は、さらに格別である。

昨年、この千本桜の植樹に携わつ
た地域の方の思いや苦難を聞く機会
があり、開花のたよりが一層待ち遠
しくなった。

また、1865年4月17日に羽島
から旅立った薩摩藩英国留学生の勇
気や功績を後世に語り継ぎ、時代を
担う青少年たちに夢や希望を与える
ために始まった黎明祭も春を告げる
行事である。子どもたちを応援する
地域の人々の実直な思いとそれに応
える子どもたちの姿に感動し、清々
しさを感じる。

まちづくりは人づくりと言われる
が、地域を愛し、地域に貢献したい
人が増えるほど活力にあふれ、安心・
安全で住み心地のよいまちにつなが
っていく。いちき串木野市では、中・
高校生を対象にジュニアリーダーク
ラブ「チェリーブロッサム」を組織
し、次世代のリーダー育成を図って
いる。体験活動やボランティア活動
を通して、大地に根付き将来の市
を担う千本桜のように育つことを願
っている。



「日新公いろは歌」かるた取り大会

日置市教育委員会

本市では、郷土の教育的な伝統や風土を生かした「風格ある教育」の推進を図っています。吹上地域では、その実践の一つとして、島津家中興の祖と言われる吹上出身の偉人、島津日新公の功績を学び、その中でも日新公いろは歌を重点的に学習しています。

学習の成果を披露

1月18日(土)に吹上砂丘荘にて、外郭団体の日新公顕彰会主催のもと、「日新公いろは歌」かるた取り大会を開催しました。低中高の3学年に分かれて試合を行い、吹上地域内の各小学校から67人が参加して、学年ごとに熱戦が繰り広げられました。

低中学年は上の句から、

高学年は下の句のみを読み

上げて試合を行います。ど

の学年においても、歌が読み始められた次の瞬間、絵札の上に手が重なっていきます。会場は読み手の声に集中する子供たちの緊張感で溢れており、子供たちの顔は真剣



かるた取りの様子

そのものです。

小学生を対象とした大会ですが、小学校卒業後も学習を続けてほしいという思いから、中学生のボランティアに読み手をお願いしています。中学生の声でいろは歌が読みあげられていく度に、郷土の伝統や風土を活かした教育が、浸透していることを実感します。

日新公いろは歌の最初の句

いにしへの道を聞きても唱えても

わが行いにせずばかひなし

この教え通り、日新公の教えをただ覚えるのではなく、その教えを実践できる人間に成長してくれることを願っています。

弟子屈町・日置市

中学生姉妹都市交流事業

日置市教育委員会

「北海道弟子屈町・日置市中学生姉妹都市交流」を、1月7日(火)から10日(金)まで3泊4日で実施しました。今回は、弟子屈中学校と川湯中学校から生徒11人と引率5人を迎えました。

交流事業のはじまり

この事業は、昭和初期に北海道の阿寒湖道路を開通することに尽力された故永山在兼氏を顕彰するため、昭和58年に出身地旧東市来町と姉妹盟約を締結し、中学生の交流を平成2年2月に始めたものです。

歓迎交流会翌日、イチゴ狩りを体験しました。北海道でイチゴの栽培はほぼなく、初めてのイチゴ狩りに笑顔が溢れていました。その後、東市来中と上市来中に分かれて学校を訪問し、北と南の気候や習慣、方言等の違いを知り、お互いの説明の仕方や話し方に生徒同士が刺激を受けていたことが感慨深かったです。

美山陶遊館

では陶芸を体験し、薩摩焼の歴史に触れました。



美山での陶芸体験

弟子屈町は道東の内陸にあり、海を見る機会が少ない生徒たちは、吹上浜の海岸や海に感激し、噴火する桜島にも驚いていました。知覧特攻平和会館では、涙する生徒もいました。夜は、ホストファミリー宅で過ごし、友情を深めました。

貴重な交流活動

この事業は、生徒たちの貴重な体験の積み重ねで30年間続いており、南北に離れて、文化・風土が異なってもお互いの良さを共感し仲を深めることに意義があります。

今後もこの交流事業を末永く継続できればと思います。

第14回三島村民文化祭・生涯学習推進大会

三島村教育委員会

11月9日(土)、第14回三島村民文化祭・生涯学習推進大会が片泊で開催されました。

当日は、3つの島の子供からお年寄りまで200名以上が片泊に集合。全中学生によるジャンベ演奏や幼児・小中学生の発表、オリンピッククメダリストの講演、そして、お楽しみ抽選会など、プログラムは盛りだくさんでした。

特に、ミュンヘンオリンピックに出場し、銀メダルを獲得した平山紘一郎先生の講演では貴重な体験談や心に残るお話を聞くことができ、村民一同これまでのこと、これからのことについて、考えを深めることができました。

村民が一つの島に集まって交流する機会は一年に一度のこの時のみ。定期船の都合により、約5時間と限られた時間でしたが、貴重な講演、可愛い未就学児のダンス、たくましく一生懸命な児童生徒たちの発表で笑いあり、感動ありの充実した大会でした。



一堂に会して

チルドレン・フェスティバル

いちき串木野市教育委員会

12月22日(日)、いちき串木野市市民文化センターにおいて、チルドレン・フェスティバルが開催されました。これは、市教育委員会の委託事業として平成9年から毎年取組まれているもので、今回で22回目を数えます。

子どもによる企画・運営

市内の小中高生から実行委員を募り、小中高生自らが、企画・運営に携わり、当日の舞台出演や運営スタッフまで、全て手作りで取り組み、まさに「子どもたちの子どもたち」による子どもたちのための文化祭」と言えるイベントです。今回は、地元の串木野高校の生徒をはじめ、総勢29名の児童生徒で実行委員会を組織。出演者の募集やポスター・チラシの作製・配布などの広報活動、プログラム編成など、約2カ月かけて準備しました。

この実行委員会の取組を支えているのが、かつての青年団OB等の有志で活動する「青少年応援隊」のメンバーです。実行委員会の結成から当日まで、この事業の世話役として指導・助言等に関わっています。前日の準備・リハーサルから当日は、世話役の指導のもと、実行委員会が主体的に進めていきます。今回、ステージでは小学校の吹奏

楽演奏や和太鼓演奏、ピアノ演奏、小・中学生や高校生によるダンス、和装礼法の披露や高校生の書道パフォーマンス、弾き語りやバンド演奏など、幅広い16の演目が繰り広げられ、また会場内には、お茶会の席やプラ板等の工作体験コーナーも設けられ、大いに盛り上がりました。



チルドレン・フェスティバルの様子

司会や照明係、舞台係、受付や体験コーナー係など慣れない役割を緊張した面持ちでこなしていた実行委員たち。イベントが無事終わった時には安堵感や充実した笑顔があり、成し得た者にしか味わえない達成感に包まれていました。

地域の担い手づくりへ

年によつては、実行委員の確保が難しいこともあり、また、応援隊員が減少していることなど課題も抱えながらのこの事業ですが、実行委員OGがスタッフの昼食(カレー)作りに駆けつける姿もあります。この事業が作る繋がりを大事にしながら、これからも地域づくりの担い手となる青少年育成活動の一環として、取組を継続していきたいと考えています。

第3回黎明の地ふるさと短歌大会

いちき串木野市教育委員会

薩摩藩英国留学生出発の地である本市羽島出身の歌人 故「萬造寺斎」の顕彰と文化の薫るまちづくりの一環として「黎明の地ふるさと短歌大会」を実施しています。第3回となる今回は、5月20日から約2カ月間、作品を募集し、県内各地から3120点もの沢山の応募を頂き、集まった作品は、県歌人協会のご協力の下、厳正な審査を行いました。大賞に選ばれた県立市来農芸高校3年 片岡怜愛さんの作品「噛みしめる碗の最後の一粒や 田を離ること 祖父の決めた日」をはじめ、小学生から一般までの各部門賞や留学生賞など33首の受賞作品を選出。

10月20日、いちきアクアホールにおいて授賞式を行いました。



受賞者とともに

この大会が、日本古来の伝統的文化である「短歌」に親しむきっかけとなり、ひいては文化の振興につながるよう、これからも取り組んでいきたいと考えています。今後の大会へのご応募お待ちしております。

「みかんだもーれ」宝島子ども会

十島村教育委員会

宝島では、「みかんだもーれ」という伝統行事があります。「みかんだもーれ」とは、「みかんをください」という意味です。昔は、十五夜るとき、団子に加えてみかん、サツマイモ、落花生など収穫した作物をサンバラ(竹で編んだ器)にお供えし、お月様に感謝の気持ちを表し、来年の豊作を祈っていました。その後、当時の子どもたちは、「みかんだもーれ」と言っ、親戚の家を回りました。子どもたちは、「青、赤、白のどれがいい？」と親戚の人に尋ねられると、どれにしようか迷いながら楽しそうに答えていたそうです。色を選んで食べ物をもらおうという、ユニークな親戚の家でのひとときです。青はみかん、赤はサツマイモ、白は団子を表しています。子どもたちは、みかんやサツマイモ、団子をもらい、収穫の喜びをみんなに分ち合っていたそうです。

この伝統は、近年はみかんの栽培がなくなつたため、みかんからお菓子に代わつたものの収穫への感謝の気持ち、今の子どもたちにも引き継がれています。



みかんだもーれ

今年は、「みかんだもーれ」の後、十五夜相撲を行い、子どもたちは土俵を大いに盛り上げました。

地区子ども会大会・指導者・育成者研修会

鹿児島地区子ども会育成連絡協議会

12月7日(土)、

いちき串木野市市民文化センターで開催され、子ども会、指導者・育成者あわせて638人が参加しました。大里「虫追踊」で幕を開け、松尾地区子連会長、有村孝教育長の挨拶、表彰式、子ども会活動・体験発表、創作活動・講演がありました。



オープニング

子ども会活動・体験発表

ジュニア・リーダークラブ「チェリーブロッサム」と、日置市青少年リーダー研修「多賀町・日置市交流」の発表、いちき串木野市の単位子ども会の中央子ども会と本浦地区子ども会の活動発表がありました。いずれも子どもが主体的に取り組んでいる様子が伝わる発表でした。

創作活動大会

子どもたちは、5つの会場に分かれ、「チェスト」(日置市)と「チェリーブロッサム」(いちき串木野市)のジュニア・リーダークラブの指導を受け、「アートフレーム」づくりにより、互いに協力しながら取り組みました。



創作活動の様子

講演

本県出身で、現在、防衛医科大学校教授の高橋聡美先生が、「親子で育む自尊心」と題して講演されました。子どもとの関わり方や心のSOSの出し方等について、鹿児島弁を交えながら分かりやすく具体的なお話をされました。



高橋聡美先生

中央ブロック子ども会ジュニア・リーダー及び高校生クラブ等交流大会
 輝跡く令和元年 みんなでつくる輝く跡く
 12月21日(土)〜22日(日)

台風の影響で延期となっていた本大会が、日置市、いちき串木野市、西之表市、中種子町、南種子町、屋久島の3市3町の29人が県立青少年研修センターに集合、交流大会が開催されました。

初日は、創作活動、各団体の活動報告、宿泊学習などを通して地域や団体の絆を超えた交流を深めることができました。翌日、県民交流センターに移動し、雨の中を「文化ゾーン」の散策を行いました。黎明館



見学の様子(黎明館)

【子ども会関係 県表彰】※敬称略
 ★県子ども会育成連絡協議会表彰

中野 弘己(いちき串木野市)

★県優良少年少女団体表彰

○妙円寺3区子ども会(日置市)

○花熟里子ども会(日置市)

○扇尾子ども会(日置市)

【地区区子ども会育成連絡協議会表彰】

○秋山俊一(いちき串木野市)

○下神殿子ども会(日置市)

○南湯之元子ども会(日置市)

○宝島子ども会(十島村)

○上名地区子ども会(いちき串木野市)

○駅前子ども会(いちき串木野市)

では、現在、復元工事中の御楼門の建設現場を見学しました。

しかし、荒天による船の欠航が予想されたため、熊毛地区の皆さんは船便を1便繰り上げて帰ることにになりました。港では感極まつての涙の別れでした。

短い交流でしたが、今回得ることのできた発見や体験を、それぞれのクラブで生かし、地域社会のリーダーとして活躍してほしいと思います。来年は屋久島で開催されます。



再会を期して

武家屋敷群「麓」を歩く

日置地区文化財担当者等研修会

昨年5月に鹿児島島の各地に残る武家屋敷群「麓」が日本遺産に認定されました。本地区内にも串木野麓があることから、今回(11月20日)は、日本遺産「薩摩の武士が生きた町」武家屋敷群「麓」を歩く」と銘打って、

鶴丸城跡(御楼門建設現場) ↓
 喜入旧麓 ↓ 知覧麓 ↓ 加世田麓

喜入旧麓を歩く



薩摩の武士達が農耕に従事し、平和な世にありながら、武芸の鍛錬に励んでいた往時に思いを馳せることでした。

編集後記

雪に耐えて梅花麗し(西郷隆盛) 春になり、旅立ちと出会いの季節になりました。新型コロナウイルスへの警戒が続いていますが、感染予防に努めながら、新たな気持ちで、前に進んでいきたいものです。(事務局 田中)



御楼門建設現場の見学